

(別紙 9)

京都府におけるクマ類の調査の実施に係る評価報告  
(調査・計画策定事業)

1 現状のクマ類の調査の状況及び課題等

ツキノワグマ（丹後個体群）の生息域や個体数を把握し、適切な個体群管理のための基礎データを収集するために、カメラトラップ調査（斑紋識別法）を実施する。人件費の引き上げに伴う委託費用の高騰が当面の課題となっている。また、トラップ設置に際し、同意を得るべき森林所有者の特定に苦慮した。

2 実施する調査の具体的な内容等

実施時期	令和7年9月17日～令和8年3月27日
場所	京都府福知山市、与謝野町に跨る大江山
目的・必要性	生息域や正確な個体数を把握し、適切な個体群管理を実施する。
調査主体	京都府（調査会社に委託）
内容・得られる情報	カメラトラップ調査（斑紋識別法） 調査地点周辺の生息頭数情報が得られる。
方法	カメラトラップ調査（斑紋識別法） センサーカメラの前に餌でクマを誘引・直立させ、胸部の斑紋を撮影
活用方法	特定計画策定のための基礎資料
事業費	4,268,000円
備考	

注：事業前の計画では各項目について想定又は期待される内容を、事業終了後の評価報告では各項目に関する実績や結果を具体的に記入すること。実施する調査が複数ある場合は、調査の種類毎に各項目を記入すること。

3 調査結果及び考察（事業終了後の評価報告時のみ）

対象地域におけるクマの出没傾向及び行動圏が明確になった。結果に基づき、出沒予測に基づく効果的な防除対策の展開や、地域住民への注意喚起体制の構築等を図った。

注：調査によって得られた情報と分析結果、調査結果の活用方法等を記載するとともに、今後の改善点や必要な調査等についても記載すること。

4 その他

--

注1：モニタリング・調査の実施に当たって、特記すべき事項があれば記入すること。

注2：事業終了後の評価報告において、特記事項に対するコメントがあれば記入すること。